

製品名: v-SNARE Vti1p ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19846**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	VTI1B
別名	VTI1B; VTI1; VTI1L; VTI1L1; VTI2; Vesicle transport through interaction with t-SNAREs homolog 1B; Vesicle transport v-SNARE protein Vti1-like 1; Vti1-rp1
遺伝子 ID	10490.0
SwissProt ID	Q9UEU0
免疫原	ヒト v-SNARE Vti1p の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

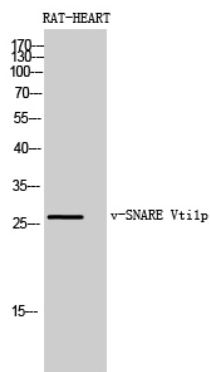
機能: 標的膜上の t-SNARE との相互作用を介して小胞輸送経路を媒介する V-SNARE。これらの相互作用は、小胞輸送の特異性の側

面を媒介し、脂質二重層の融合を促進することが提案されている。細胞老化に関連するサイトカインの分泌増加に関与している可能性がある。、類似性: VTI1 ファミリーに属します。、サブユニット: 肝臓では VAMP8 および STX7 との複合体として存在します。STX7、STX8、VAMP8 と SNARE 複合体を形成し、後期エンドソームの同型融合に機能します。STX7、STX8、VAMP8 を含む SNARE コア複合体の一部です。、組織特異性: 調査したすべての組織で発現しています。、機能: 標的膜上の t-SNARE との相互作用を介して小胞輸送経路を媒介する V-SNARE。これらの相互作用は、小胞輸送の特異性の側面を媒介し、脂質二重層の融合を促進すると考えられています。細胞老化に関連するサイトカインの分泌増加に関与している可能性があります。、類似性: VTI1 ファミリーに属します。、サブユニット: 肝臓では VAMP8 および STX7 との複合体として存在します。STX7、STX8、VAMP8 と SNARE 複合体を形成し、後期エンドソームのホモタイプ融合に機能します。STX7、STX8、VAMP8 を含む SNARE コア複合体の一部です。、組織特異性: 調査したすべての組織で発現しています。、

研究分野

小胞輸送における SNARE 相互作用;

画像データ



ラット心臓細胞の v-SNARE Vti1p ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いたウェスタンブロット解析。二次抗体は 1: 20000 希釈。